

「Better Eyesight・1925年4月号から」

「FLOATING SPECKS」

「視界に浮かんでいる斑点」

患者が明るい表面にある物を見ようとして目を緊張させると、見たい物と一緒に、点々とか黒い糸くずとか涙のような水滴とかが視界に浮かんで見えます。そのサイズは5ミリ位か少し大きめで、変化にとんだ形で現れます。

これ等を見たり、想像したりする可能性は、子供から大人まで年齢には関係なくあります。子供たちが天気の良い日に地面に仰向けに寝ころんで、明るい雲を見上げると、斑点を想像しやすいので、それを見て数時間も楽しんでいることが知られています。

これ等の斑点は、無意識に或いは意識して想像するから見えるのですが、それを知らない大人たちはこの空中に浮かんでいる斑点を見たくない、と不平を言います。浮かんでいる斑点の起こる原因は、完全に見えた物を不完全に記憶している所為ですから、逆に斑点を見たことのない正常な視覚の人に、どうしたら字や他の違った色や物が見えるかを教えることが出来ます。

その方法は、目を緊張させて色のついた字や不完全な種々の物体を想像して見ることです。逆に、患者が浮かんでいる斑点を意識して想像しながら、そこにある物を正常に見ることが出来ないという事でそれが証明されます。

飛蚊症の患者の治療において大切なことは、斑点が見えていると患者自身が想像しているだけで、実際には見えてはいないのだと、徹底的に納得させる事が重要です。

また浮かんでいる斑点を見る為には膨大な緊張が必要であり、その時には今までに見たり記憶したり想像した多くの場所での全ての物について完全な記憶力を失ってしまうということを患者の心に印象付ける事が重要です。それが非常に良い助けになります。

Q and A

Q, 毎朝、私の目は腫れて見えにくい状態になります。睡眠の睡眠時間は8~9時間ですが目が休んだように感じません。

A, あなたの目やマブタの腫れは、睡眠中に目を緊張させるからでしょう。確かに睡眠時間は十分な長さですが、気持ちが休まっていないので、眠りの質が良くないのです。